

牧溪郷

学校の教育目標
自ら考え
正しく判断し
やりぬく生徒



Email minokita-jh@edu.city.mino.gifu.jp

HP <http://www.edu.city.mino.gifu.jp/minokita-jh>

学校評議員会開催

6/13(月), 学校評議員会が開催されました。再編成に関わって多くの意見が出されました。

○どのように事前に交流を進めていくか?

- ・生徒会活動は1学期にビデオレターで交流すること、夏休みに生徒会の役員が交流することなどを計画している。
- ・部活、育成会については、交流できるところはすでに交流を始めている。中体連終了後は、積極的に交流を進めていく。

○北中の生徒のことをわかってきている先生を多く美濃中にも行ってほしい。

- ・人事に関わるので一方的なお願いだけでは決まらないが、そういう願いをもって進めていきたい。
- ・心の相談員の有効な活用なども考えたい。

○閉校記念号行事・閉校記念誌について

- ・実行委員会を組織して進める。
- ・記念行事は、地域に方にたくさん参加していただき、北中を心に残していただけるものにしていきたい。
- ・記念誌は資料提供、執筆、購入などで、地域の方に協力をお願いしたい。
- ・北中がつくられた頃の写真が家にある。記念誌の写真として協力したい。

学校評議員名簿 (敬称略)

古田 貞昭	下牧地区連合自治会長
粥川 基美	上牧地区連合自治会長
宮西 修一	下牧地区青少年育成推進員
村井八十恵	上牧地区青少年育成推進員
佐藤 功	美濃市民生児童委員連絡協議会会長
藤田 吉廣	第三民協会長
林 哲男	第四民協会長
後藤千恵子	主任児童委員
西村 孝江	主任児童委員
後藤千恵美	主任児童委員
太田 依子	主任児童委員
幅 仁史	美濃北中PTA会長
中島 市則	美濃北中PTA副会長
三上 伸子	美濃北中PTA副会長

学級目標決定

4月から各学級では、どんな自分になりたいかやどんな学級にしたいかという願いを話し合ってきました。そして宿泊研修や日常生活の取り組みを通して、成果と課題を見つめてきました。願いと実際の行動のズレをきちんと見つめ、自分たちがこの1年間成長するために何に向かっていけばよいのかを話し合いました。そして、成長への願いを学級目標というかたちにしてきました。

どの学級もそれぞれ克服すべき課題があります。学級目標は、学級全員が1年間、目指していく方向を表したものです。学級目標決めの過程を通して、自分の努力とそれを支える仲間の力の大切さを再確認できたと思います。学級目標を達成するために、一人一人の生徒が仲間と協力して精いっぱい取り組む1年であることを願っています。

《学級目標》

1年1組	チェンジ&アップ ～自分の姿を変えて、クラスを成長させる～ ・相手を思いやる力 ・正しく判断 ・けじめある授業
2年1組	動く+応える=繋ぐ ・動く : 一人一人が自分で考えて精いっぱい行動すること ・応える : みんなの呼びかけに応えること ・繋ぐ : みんなの心が一つになること
3年1組	絆 ～自分から行動～ ・生活 : 時間行動 ・学習 : 聞くとき、話すときのけじめ ・仲間 : 誰にでも呼びかけ
あすなる	思いやりと責任
さわらび	進化Ⅲ

月曜 昼休み読書

テレビ、インターネットの普及でいろいろな情報を得られる世の中になってきました。それに伴って本を読む機会が少なくなっているのが現状です。読書を通して、「考える力」「感じる力」「想像する力」「表現(話す・書く)する力」を伸ばしたいと願い、月曜昼休み読書を始めました。写真のように、みんな無言で集中して本に向かっていました。



美濃地区陸上大会 祝！ 県大会出場

6月11日に洞戸グランドで開催された美濃地区陸上競技大会には、男子の部に13人の選手が、「100m」「200m」「400m」「4×100mリレー（低学年・一般）」「走り幅跳び」「砲丸投げ」に参加しました。この大会に向けて、女子も含め30人以上の生徒が朝早くから自主練習を続けてきました。大会に出場するしないに関わらず、自分の目標を持って朝や放課後の練習にひたむきに取り組んできました。どの種目にも選手は全力を出し切りました。次の種目が県大会に出場することになりました。

4×100mリレー=2位 400m=2位 200m=3位 (以上、県大会出場)



東日本大震災義援金

東日本大震災直後から、一部の生徒は自主的に募金を集めたいという願いを伝えてくれました。その願いを生徒会に集約するという形で、昨年度の生徒会執行部が募金活動について検討してきました。

復興には長い時間が必要だろうと思われること、短期間に募金を済ませてしまうのではなく、じっくりと事実を見つめた上で取り組む気持ちが大事であることなどを考えて、平成23年度の前期執行部に活動を引き継ぐことを決めました。

今年度の執行部が生徒に呼びかけ募金を集めました。生徒会長と副会長が、去る5月27日、美濃市社会福祉協議会を通して寄付しました。復興が一日でも早く実現されることを望むばかりです。



東日本大震災生徒会募金=38,357円

PTA母親委員会研修視察

5/16にPTA母親委員会研修視察を実施したところ20人の参加があり、中津川市の「ちこり村」「サラダ農園」「吉田養蜂場」を訪問しました。

吉田養蜂場では、蜂蜜やミツバチについてお話を聞き、遠心分離機で取り出したばかりの蜂蜜を試食しました。サラダ園では衛生に気をつけて工場野菜を生産している様子を見学しました。ちこり村では、ちこり（アンディーブ）の生産方法や地産地消や食べ物の大切さについて話を聞きました。

研修から帰って家庭で話されたことについて、何人かの感想を抜粋して紹介します。

- ・蜂の生態、とれたての蜂蜜を試食して濃厚さに感動したことなど、子供もお土産の蜂蜜の濃厚さに感動していました。
- ・夕食にちこりを食べました。ちこりの作り方を見学して、手間がかかって育ったちこりだといって、おいしく家族みんなで食べました。
- ・子供は私が行ったところにあまり興味はなさそうだったが、朝食のトーストに蜂蜜をぬってあげたら、とても食べたのがうれしかった。
- ・蜂蜜を作るには花が必要で、ミツバチがいないと野菜なども作ることができないこと、蜂蜜は頭と体にいいこと等を話しました。子供は蜂蜜をたくさん食べると言っていました。
- ・蜂蜜は苦手でしたが、純粋蜂蜜に挑戦して「おいしい！」と食べることができました。きれいな工場でごろ食べるものが作られていることや、野菜をおいしく料理すればもっと好きになれると話すと、「お母さん、せっかくおいしいものを食べてきたのだから、参考にしてくちでも作って！」と頼まれました。
- ・蜂蜜と一言でいっても、時期によっていろんな花や樹木から蜂蜜がとれること、その時によっていい出来のものもあること、自然はいつも同じように季節を迎えているけど、その中でもその時々がちがいがあることなどを話しました。

7月の主な行事予定

- | | |
|-----------------|----------------|
| 2(土)～ 中体連市・地区大会 | 15(金) 薬物乱用防止講座 |
| 7(木) 救急救命法講習会 | 19(火) 体育祭結団式 |
| 全校道徳 | 20(水) 終業式 |
| 8(金) PTA 地区懇談会 | 21(木)～ 三者懇談 |

8月の主な行事予定

- 21(日) PTA 環境整備作業

**PTA地区懇談会、環境整備作業
ご参加ご協力よろしくお願いいたします**